

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2002年9月から2016年8月までに当院にて術前検査を施行し、大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(Endoscopic submucosal dissection, ESD)を受けられた患者さん			
②研究課題名	大腸腫瘍に対するESDにおける一括摘除困難及び穿孔発生に対する予測モデルの開発			
③実施予定期間	承認日 ~ 2023年12月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	今井健一郎	所属	内視鏡科
⑥当院の研究代表者	氏名	今井健一郎	所属	内視鏡科
⑦使用する検体・データ	患者さんの情報、病変の基本情報、ESD治療の結果			
⑧目的	大腸腫瘍に対するESDで病変をきれいに切除できなかつたり、穿孔をおこす確率を予測するモデルを開発し、正確に予測できるかを調べることです。			
⑨方法	2002年9月から2013年3月までの期間に当院にてESDを施行された673症例716病変の結果からESDできれいに切除できなかった、あるいは、穿孔が発生した症例を予測するモデルを開発しました。本モデルでは、術前の検査で患者さんや病変の特徴からスコア点数をつけ、その点数が高い病変では、ESDが難しく、きれいに切除できなかつたり、穿孔が発生する確率が高くなる、と予想します。2014年1月から2016年8月までに当院にて術前検査を行い、ESDの適応と判断した415症例417病変において、ESD前にスコアを算出しました。スコアとESDの結果を比較検討し、スコアが高い病変で、ESDできれいに切除できなかった、あるいは、穿孔が発生した頻度を調べて、開発したモデルの予測性能を検討しました。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2017年12月15日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利(特許権等)は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222(内線3379)
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。